



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成30年7月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
7月号
2018年
No.187

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

「政治」の本質は予算編成にあり

アベノミクスの原動力 政治家主導の骨太の方針を決定

6月15日、安倍政権は「経済財政運営の基本方針」いわゆる「骨太の方針」を閣議決定しました。これから、骨太の方針を前提に来年度の予算が作られ、事業計画が作られてゆくことになります。

この仕組みは小泉内閣で生まれたものであり、大蔵省主導の予算編成から、政府と与党が主導する予算編成への転換のために作られたものです。

まず、この「骨太の方針」の中身に関しては、政府の「経済財政諮問会議」と並行して自民党の各部会で議論されます。この論議を経て、日本の現状を踏まえ各分野で必要とされる事業の骨格が「骨太の方針」として示されるわけです。

そして、それを省庁側が取りまとめ、年末にかけて、事業の優先順位などに合わせ事業の取捨選択を行い、予算の政府原案を作るわけです。

その上で、それを各部会や政調会、総務会で審議し、最終的には公明党と合同で行う「与党政策責任者会議」で調整し、その結果を尊重する形で政府が予算を閣議決定することになります。

これは政府・与党が適正に連携し、目標を持って動いてゆくからできることです。議員はきちんと部会で発言し、それを政治に反映させてゆく、これが最も大切なことであり、政治家が主導する形の政治体系の根幹です。

実は、この仕組みができるまでは、大蔵省が絶大な予算編成権限を持っており、前年度予算などを基準に各省庁に割り当てられた予算（シーリング）の範囲内で各省庁の事業計画が決められていました。しかし、これでは時代の変化に対応できず、政治に議員の声が反映されにくかったため、財務省がシーリングを各省庁に割り当てる前に「骨太の方針」を定めることにしたのです。

実は民主党政権の3年間、この仕組みは廃止されました。鳩山政権では予算編成権限を幹事長室に一本化しましたが、調整ができず予算編成が困難になったため、菅政権では、省庁ごとの予算条件を決める財務省主導の旧来の仕組みに戻すことになってしまいました。第二次安倍政権では、政権発足後、最優先課題としてこの制度を復活させ、アベノミクスの原動力として最大限に活用しています。

国会での審議ばかりが注目を浴びますが、最も大切なのは審議の前提となる政策作りであり、政策ができるまでの議論と予算などを踏まえた調整です。これこそが議員の仕事であり、松本純は元来の専門分野である厚生労働だけでなく、全分野における調整を行ってきました。それが現在の国会対策委員長代理という職務を支えています。



自民党総務会での審議

予算成立までのスケジュール

- ～6月中旬 骨太の方針を閣議決定
- ～8月 概算要求基準を閣議決定
- ～8月末 各省庁が概算要求を財務省に提出
- ～9月 財務省と各省庁が折衝
- ～12月下旬 政府案を閣議決定
- ～3月末 国会で成立

いま地域で
(人・まち・出来事)

石川町南口に下町の屋台祭り！

石川町南口界限「裏フェス」仕掛人 佐藤晃一さん(中区)

JR石川町駅南口は「元町」や「山手」の玄関口として女学生や観光客などで日々賑わっています。そんな南口の周辺エリアで、5月20日「下町の屋台祭り～裏フェス2018」が開催されました。駅南口周辺の下町情緒あふれる小さな飲食店が結束し、自慢の料理や商品をワンコイン500円で提供し、人気のお店には長い行列ができ、売切れが続出するなどの熱気に包まれました。地元アーティストによるダンスやライブ、DJなどのパフォーマンス、フリーマーケット等も同時開催され、普段は比較的静かな印象の町は一変してお祭りムードに。このイベントがスタートしたのは4年前。この限界でお好み焼き「すずや」を営む佐藤晃一さんは石川町の下町情緒の魅力をアピールしたいと若い友人4名と共に独自の活性化委員会を立ち上げました。「4年前には20店舗の参加でしたが、今回は50店舗が参加するまでになりました」と佐藤さん。石川町駅南口の改札口の目の前を流れる中村川は、かつては港からの物資を運ぶ運河として栄え、石川町駅付近には数多くの「はしけ」が係留されるなど周辺の店々は港湾関係の労働者の姿で活気にあふれていました。「それが『石川町』の原点でもありました」と語る佐藤さんは、イベントを通じて広がる「まちづくり」への想いを笑顔で話してくださいました。



「裏フェス」仕掛人たち～佐藤さん(右)とスタッフ

[2018年6月]

松本議員の活動記録

- 1日●国会对策正副委員長打合せ
●議院運営委員会与党理事懇談会
●森山・辻元国対委員長会談に陪席
- 4日●国会見学ぞくぞくと！神奈川県薬剤師連盟役員の皆様
- 5日●自民党役員連絡会
●役所説明(厚生労働省・渡辺由美子審議員:骨太の方針について)
●厚生労働省・度山徹社会保障担当参事官説明骨太の方針について
●日本製薬工業協会・中山譲治新会長面談(就任挨拶、骨太の方針について)
- 6日●マンション計画修繕施工協会設立十周年記念懇親会
- 8日●議院運営委員会与党理事懇談会
- 11日●役所説明(中小企業庁・菊川人吾財務課長:事業承継議連について)
- 12日●本会議
- 13日●中小・小規模事業者の円滑な世代交代を後押しする議員連盟総会
- 16日●日本病院薬剤師会第57回通常総会
- 17日●日本薬局協会第69回東京全国大会
●神奈川県薬剤師会平成30年度通常総会
- 18日●自由民主党薬剤師問題議員懇談会・総会



6/2 日本太極拳友会創立40周年記念友好団体親善演武大会三代一美追悼大会祝賀会 ●全国の友好団体の皆さんが出席し、三代正廣会長の最愛の奥様三代一美先生を偲びながら和やかな会となりました。



6/3 横浜市学童保育連連絡協議会金沢ブロック運動会 ●金沢区内10学童クラブが参加し、児童を含め約1000名の皆さんが参加しました。小保方則亮会長から学童の支援環境についてご意見を伺いました。



6/4 国会見学！神奈川県薬剤師連盟役員の皆様 ●4月からの診療報酬・調剤報酬改定の影響や薬機法・薬剤師法の改正も踏まえ薬剤師並びに薬局のありかたについても意見交換をしました。



6/8 神奈川県社会保険労務士会・政治連盟平成30年度通常総会懇親会 ●長瀬眞彦神奈川県社会保険労務士会会長は少子化・人口減少社会の中で人々が幸せに暮らせる社会を目標にすると述べられました。

永田町日記

「平場(ひらば)の議論」って何？

永田町用語に「平場」と呼ばれるものがあります。

これは党内での議論を意味し、党の部会や政策調査会、総務会などで行われる審議を意味します。これは国会議事堂本会議場が階段式になっているのに対して、党の会議室は平坦であることから来たといわれています。そして、平場での審議はマスコミ非公開であり、同じ自民党の同僚議員を中心に行われるので、自由な発言が可能で、審議が紛糾することもままあります。このような場合、意見を派閥に持ち帰り、派閥としての意見を取りまとめるなどして、政調会に掛け、最終的には総務会で党としての最終決定とするわけです。この過程において、派閥や議員をつなぐ調整役が必要であり、松本は志公会事務局長としてそれを担っています。



自民党での「平場の議論」